

雨水流出抑制施設設置計画書

提出年月日	年 月 日
-------	-------

事業者	名称等		担当	
	住所		電話	
代理者	名称等		担当	
	住所		電話	
事業内容	名称等		用途	
	所在地	香取市		
	着手予定	年 月 日	完了予定	年 月 日

[1. 敷地面積]

敷地面積計	A ₀	㎡
-------	----------------	---

[2. 計算式]

流出雨水量の計算式	Q	$Q = C_0 \times A_0 \times I$ <p>Q : 流出雨水量(㎥) C₀ : 平均流出係数 A₀ : 敷地面積(㎡) I : 時間雨量(53mm)</p>
-----------	---	--

[3. 浸透施設の設置に適さない区域]

浸透施設の設置に適さない区域を	1. 含む
	2. 含まない

I 雨水流出抑制必要量の算出

[4. 設置基準]

雨水流出係数	開発区域	岩ヶ崎第一、二排水区	玉造排水区	北部第一、二、三、四、五、六、七、八排水区	東部第1排水区	中部分区その1排水区	中部排水区
事業者 (特定事業者を除く。)	300平方メートル以上	0.50	0.50	0.55	0.55	0.60	0.55
	開発区域	牧野排水区	篠原排水区	新部第1排水区	新部第2排水区		流入時間 min
	300平方メートル以上	0.55	0.45	0.55	0.40		7

[5. 工種別流出計数]

工種別流出係数值		流出係数值		面積		対策(浸透)量	
		小数点以下第三位切捨	②	小数点以下第二位切捨	③	小数点以下第二位切捨	④=②×③
緑地	非透水屋根・一般の舗装・コンクリート等	C ₁	0.90	A ₁			㎡
	透水性透水性舗装	C ₂	0.70	A ₂			
	緑地・裸地等	C ₃	0.25	A ₃			
		C ₄		A ₄			
小計						⑤	㎡

[6. 当該事業による雨水流出抑制必要量の算出]

		数 量	備 考
雨 水 流 出 抑 制 量	①		上記表を参照
当該事業による雨水流出抑制必要量	$C_0 = \text{⑤} \div A_0$		小数点以下第三位切捨

[7. 透水すべき推量 $Q \text{ m}^3$]

③ $Q = A_0 \times I (0.053) \times (C_0 - \text{①}) = \quad \times 0.053 \times (\quad - \quad) = \quad \text{m}^3$

[8. 浸透施設による対策量]

複数の専用住宅等を建築する場合 ⇒ 浸透トレンチ計算書に記載

定型外の浸透ます、浸透トレンチを使用する場合 ⇒ 浸透ます・浸透トレンチ能力計算書に記載

浸 透 施 設	形 状	浸透能力 小数点以下第三位切捨		数 量 小数点以下第二位切捨		対策(浸透)量 小数点以下第二位切捨	
		④		⑤		⑥ = ④ × ⑤	
浸 透 ます	φ 350mm,底面0.70m	0.34	$\text{m}^3/\text{個}$		個		m^3
	φ 500mm,底面1.00m	0.70					
浸 透 ト レ ン チ	0.40m×0.45m	0.24	m^3/m		m		m^3
	0.55m×0.60m	0.44					
	0.75m×0.75m	0.70					
浸 透 側 溝		0.10	m^3/m		m		m^3
							m^3
							m^3
小 計						⑦	m^3

[9. 貯留施設による対策量]

貯留施設のある場合 ⇒ 貯留施設放流量計算書に記載

貯 留 施 設	貯留面積 小数点以下第三位切捨		h:貯留水深 小数点以下第三位切捨		対策(貯留)量 小数点以下第二位切捨		
	⑧		⑨		⑩ = ⑧ × ⑨		
貯 留 施 設		m^2		m		m^3	
						m^3	
小 計						⑪	m^3

[10. 対策量の合計]

雨水流出抑制施設による対策量の合計	$\text{⑫} = (\text{⑦} + \text{⑪}) - \text{③}$	m^3
-------------------	---	--------------

II 対策量の検証

[11. 対策量の検証]

指 導 条 件	$\text{⑦} + \text{⑪} \geq \text{③}$	成 立 不 成 立
---------	-------------------------------------	--------------